

月刊

MAJOLA JOURNAL
MONTHLY AFTERNOON

2015

8

新連載 #2

進化する
創生と殺戮のハイブリッド——!!

五十嵐大介

【デザインズ】

迷霧の巨人
特別対談!!

特別対談
スプレッド・イン・ザ・ロー
水原真子
× 石川和雄

マーヴル・コミックス
オバ・レ・マン
パトリック・ミューズ
レ・マン
クリス・タッカー
レ・マンの騎士
レ・マンの騎士
レ・マンの騎士

最新作中
新連載

四季賞出身の
期待の新鋭!!
高松美咲
【カナリアの島】

この拳で世界を殺す
高橋BLACK-BOX
新連載!!

BLACK-BOX



表紙&カラーで新連載!!

爆音列伝! 完結から2年半

高橋ツトム 本誌に
帰還!! 5

祝! 講談社漫画賞
一般部門受賞!!



最新18巻発売中!
カラミ付き!!



見もの読みもの

- 新刊/BLACK-BOX 13
- 藤崎新介17と4の巻 84
- 白学舎2015年秋のコンアスト新装のお知らせ 140
- 機井野郎のお知らせ 196
- goodアフタヌーン電子版のお知らせ 447
- 「みかど」開演のお知らせ 461
- 近38回講談社漫画賞のお知らせ 566
- アメジ・ザ・ボイス 566
- アメジ・ザ・コーダスプレゼントもアンケート 568
- アフタヌーン増刊「goodアフタヌーン」のお知らせ 570
- アフタヌーン9月号予告 572
- 選挙の個人1冊にカガ・スペシャル付録 574

AFTER AFTERNOON

ある先輩さんのTV取材の収録に立ち会った際、TV制作スタッフさんたちとワンルームさんの「東京の心」と書いてこっそりニヤニヤしてゐる様子が、メイン編の雑誌が必ずではなく一冊レフのGOS 5D Mark IIであったこととからGOSの収録に参画した。

漫画家のコンビにまでGOSという団体に買収されたのですが、そんな地元100年歴史の漫画家と話す機会がありました。彼女たちが作っているというタウン誌上で、見られた漫画や音楽家がとても楽しそうにおいしそうに暮らしていて、知らないおもしろい田舎者がそこにおもしろい暮らしがしたいのと感じていた。(カガ)

この雑誌に「ある先輩さんのTV取材の収録に立ち会った」という記事が掲載されました。10月17日号に掲載いたします。●本誌の発行に際しては必ずしも10月17日号に掲載されません。

本誌に掲載された記事はすべて「本誌の発行」(発行所)に限りません。

AFTERNOON CONTENTS

26大MANGA 2015

●アフタヌーン公式Webモアイ
http://afternoon.moe.jp/

●アフタヌーンモバイルアプリ
ダウンロードはこちら
http://apple.co/1QWVWVW

●アフタヌーンモバイルアプリ
ダウンロードはこちら
http://apple.co/1QWVWVW



26大MANGA 2015 BLACK-BOX 高橋ツトム 5

ヒストリエ 岩明均 57

パラダイスレジデンス 藤原康介 67

シドニアの騎士 武蔵雄 113

フラジャイル 2015 夏 2015 夏 143

波よ聞いてくれ 沙村広明 199

ブーねこ 北瀬正幸 223

ヴィンランド・サガ 幸村誠 227

2015 ディザインズ 五十嵐大介 257

そろそろ家の話をしましょう。 西本英雄 303

マイボーイ 木村紺 343

2015 げんしけん二代目 木尾土目 393

宝石の国 市川春子 423

天地明察 2015 夏 2015 夏 449

マージナル・オペレーション 2015 夏 2015 夏 475

アンダー-3 榎本健二 510

2015 カナリアたちの舟 高松英次 513

あさはかな夢みし 瀬波ユカリ 591

森迷のリミット 藤原六郎 605

白馬のお嬢さん 庄司創 645

電撃戦艦の人間ノック 2015 夏 2015 夏 673

スパイの家 2015 夏 2015 夏 707

アフタヌーンはカラスヤサトシのもの カラスヤサトシ 753

2015 サイバリアン・アドベンチャー リリアット 757

月に吠えらんねえ 清家雪子 791

コトノバドライブ 戸倉野ひとし 845

第39回

講談社漫画賞発表

少年部門



七つの大罪

鈴木 央

少年部門



弱虫ペダル

渡辺 航

少女部門



逃げるは恥だが役に立つ

海野 つなみ

一般部門



シドニアの騎士

式瓶 勉



クッキングパパ

うえやまとち

特別賞



第39回

講談社漫画賞受賞作品

賞状およびブロンズ像 賞金100万円

The Kodansha Manga Awards

The Kodansha Manga Awards



選評 安童夕馬

あなごうきょうま

夕馬は特に少女部門がまれに見る経験者だった。競ったのは「闘争ベダル」と「七つの大罪」。スポーツ漫画の王道とファンタジーの王道は早乙女がつけがたく、読者を重ねた家には作品の受賞となった。

少女部門では、今の時代ならではの世界観を描いた「闘争ベダルは見たが役に立つ」が、読者委員の評価では驚くほど低く付いていた。同様の理由だった本作といい、両女子を主人公に選んだ「私がモテてどうすんだ」は、いかに時代を捉えているかが窺えた。

特別賞に選ばれる一冊部門も、「コウノドリ」と「シンドニアの騎士」のどちらかを選ぶがで賞を授けられた。結局は、文芸はありながら私小説を志めた読者委員の賛同が「読んで9は決まった」となった。「シンドニアの騎士」が受賞することになった。

最後になるが、30年前もの長きにわたって読者に支持され続けてきた「タッキングバリー」の特刊賞受賞を、心から祝福したい。



夕馬は世界にデビューしました。受賞投票で最後まで続けた「コウノドリ」も生活の喜びを伝える素晴らしい作品。若者男女みんなにぜひ読んでほしいです。

そして、特別賞の「タッキングバリー」。30年前も「うぬぼ」シリーズと異種で、わたしたちに届けられ、この世をふるまってくれた。うえやま先生と荒巻王道（読者委員）に拍手！ 受賞者の皆様、おめでとうございます。

小林深雪

こばやしふゆき

選評

少年部門の「七つの大罪」は英語の児童文学を思わせるファンタジー。最後まで丁寧に描き込まれた絵がとても魅力的です。「闘争ベダル」は登場人物すべての個性がしゃがんでいて、主人公だけでなく全員の一ひとりの性格が描き込まれていて、読者に寄り添った作品です。

少女部門の「私がモテてどうすんだ」は、今の時代の生きにくさを描いていて興味深い作品。恋愛や結婚に対する読者の反応、それに伴う社会的な問題がコミカルかつリアルです。

一冊部門の「シンドニアの騎士」は巨大なスケールの絵でオリジナリティを表現しています。



選評 藤沢とおる

ふじさわとおる

夕馬の漫画家デビューも本作に力作ぞうでした。中でも少年部門では「闘争ベダル」「七つの大罪」が飛びぬけており、特に「七つの大罪」はガジンのファンタジーの新しい風を思わせる。そんな作品だと思えました。

少女部門では受賞した「私がモテてどうすんだ」の他には「私がモテてどうすんだ」が面白い評価の高い作品でした。「小学生のどろろ」も小学生女子の読者委員作品でそのかわりに「私がモテてどうすんだ」にチェックを入れました。



一冊部門では「シンドニアの騎士」と「コウノドリ」の評価が高まっており最後まで読者に支持された部門でもありました。「コウノドリ」は優しくも厳しく描かれたが今回の投票の手では個人的に一番好きな作品でもあります。

と、いうように面白い作品がそろった今回の読者のための投票は、いかに面白くも思いました。でも、何よりうれしいのは「タッキングバリー」が特別賞に選ばれたことです。30巻もの長い連載を続けていもうえやま先生に敬意を表したいと思います。

藤島康介

（たけしま こうすけ）

選 評

今年も素晴らしい作品ばかりで選考は大変でした。少年部門は個人名にも大きな「銀狼ペダル」と大ヒット中の「七つの大罪」となりました。キャラクターの描き手さな、ひたむきな、そういう部分が少年部門にふさわしいと思います。「RAY'S」も「スノールン」もその点で面白い作品だったと思います。

少女部門は神作の切り口と語り口の「逝けるは屍だが夜に立つ」でした。無しのなかめしているのかわからないまま、徐々に胸をきけてくる感じが目を引きます。愛の形はたくさんあることを感じます。一般部門はSFを丁寧に描きつつ、時にエロく、時に青春ラブコメディを演繹する「シンドニアの騎士」が、選考委員一同その内容を新しく読むところから最終的に賞にふさわしいということになりました。

特別賞はふきにわたり読者の興味をつかみ続けてくれた、うえやま先生の素晴らしい作品を選ばます。5年選考委員をさせていただいたことがとても勉強になりました。これから様々な作品に触れて選考させていただきます。楽しい時間をありがとうございました。



「シンドニアの騎士」

選 評

三田紀房

受賞おめでとうございます。少年部門は、「七つの大罪」を強く推しました。絵の上手さ、物語進行の巧みさに加え、今後ファンタジー漫画を導いてくれることに期待を込めて支持しました。「銀狼ペダル」は、新しいスポーツ漫画の大傑作で、個性豊かなキャラクターに魅了されました。これを外すことは考えられず、同時受賞は大変です。

少女部門の「逝けるは屍だが夜に立つ」は、夢にリアリティを感じ、文豪に描かぬ気持ちにさせてくれる、とても心に残る作品でした。

一般部門では、私は「コウノドリ」が最もふさわしい作品として強く推しました。物語道具の巧みに胸を締めつけられ、深く考えさせる感動作ですが、残念でした。「シンドニアの騎士」は非常に面白かった。順当に選んで褒め上げた作者のこだわりには感服しました。

特別賞の「クッキングパパ」は、歴史小説手帳であり、その性質に心より敬意を表し、褒めに値する作品であることを心よりお祈りします。

前川たけし

選 評

少年部門は、由紀平先生の傑作賞を圧倒的な票力で強く「銀狼ペダル」が優勝しました。一方で賞格もあるれるファンタジーとして「七つの大罪」を支持する意見も多く二作同時受賞です。

少女部門、読者の読後年齢はやや高めながら読者としての契約関係をさらに強かに書く「逝けるは屍だが夜に立つ」に票が集中しました。異文化理解が新しい「私がモテてどうすんだ」、「小学生のヒソカ」も印象的。

一般部門は、漫画人種のリアルな現場を描く「コウノドリ」が高い評価でしたが、中堅を舞台に無常な世界観を構築する奥のつかない傑作で賞を放つ「シンドニアの騎士」の個性こそ評価すべきとの声に賛同者が決定受賞作に決定しました。「おんなのいづ」の台詞の味わい、「雨一かきぬ」の表現が入れ替わる箇の物語、スマホ向けオールカラー（16:9対応）、それぞれ見逃される作品でした。

そして選考選出30年「クッキングパパ」の傑作に感謝を



「クッキングパパ」

山下和美

（やまの けい）

選 評

少年部門は、ロードレースを通して鉄腕のキャラクターを描くスピード小説を誇って描きあげ、直前に生まれて初めての30年一歩踏みさせた「銀狼ペダル」が圧倒的支持を集め、「七つの大罪」も星外れた票力でファンタジーを演繹しつづいて選出させてくれたことでダブル受賞に。

ほぼ全員の意見が一致したのは少女部門の「逝けるは屍だが夜に立つ」。冷静なように見える二人の心理が読れていく過程描写が新鮮で自づとリアル、ちょっと硬めの絵がまた効果的でした。多くの人に読んでほしい作品です。

一般部門の「シンドニアの騎士」は神作じゃない（個性と作者の持ち味の本と分けたような手探しの場面のキャラクターに打ち付けられない）、推されたのは、新先生登場に真意に打ち合う姿に心打たれた「コウノドリ」渾身の技術に魅了するようこそ。

そして最後に、モーニングを長きにわたって支え続けた偉大な作品「クッキングパパ」特別賞受賞。本当にありがとうございます。



シドニアの騎士

武瓶 勉

●1971.2.26生まれ 福岡県出身●

一般
部門

この賞は歴史ある美少年賞をいいただき、本賞にありがとうございました。受賞できるのは喜ばなかつたので、受賞の知らせを贈ったときもすぐにには信じられませんでした。

漫画を描くのは当然な作業です。片の大半は仕事にこもってネームや作画をしています。ですが、「ひとりで」『シドニアの騎士』を作ってきたわけではありません。読者の皆様、印刷局の方、デザイナーさん、印刷屋さん……多くの方に支えられてここまで連載を続けられたのとおもいます。また、素晴らしいアニメーションを作ってくれた、ザリボン・ピクチャーズの皆様にも、この場を借りて御礼申し上げます。

『シドニアの騎士』の連載は、クワイマックスに差しかかりますが、仕事で帰ってきた後、自分の好きなことを全ておこなっていくつもりです。どうか皆様までお付き合いいただきありがとうございます。応援してくださった全ての方と華やか一周年記念、めでたくお祝い申し上げます！

月刊アフタヌーン/掲載



特別
賞

1985年に『モーニング』で連載を開始した同作は、30周年を迎えた年も読者の高い支持を受けています。同作はこの賞に感謝と敬意をこめて、同賞を授けられました。



モーニング 掲載



クッキングパパ

うえやまとち ●1954.2.22生まれ 福岡県出身●

みなさん、ありがとうございます。

毎朝の片腕で毎々と食卓を飾ってきた、黄なでがタにはまったく無縁だと思っていました。それだけに今回の特別賞はとても嬉しい。実を言ってしまうとこんな嬉しいことあるんです。そもそもこんな豪華作品を毎朝飾れることができてるフッキーが嬉しいです！30年経ち、現代版の料理人として読者の多くの家庭で食卓を飾る、タタの料理の準備をおこなって家事をしている男の姿を思いつけて「うえやまとち、これ、これです。こういうの描いてください」と言ってくれて、思えばあの頃、クッキングパパが誕生したのです。先達の料理人さん、料理家さんらに……

本当にありがとうございます。ずっと反響してくださった読者の皆さまと、お支えてくださった現代の読者さん、現代の読者編集者、現代スタッフ、そして読者のおかげです。

今後とも頑張ります！

第39回講談社漫画賞候補作一覧 (作賞選定手続中)

The Kodansha Manga Awards

- 少年部門 ●『DAYS』長谷川裕見子/『花つた天竺』林 晃/『美少女戦士セーラームーン』大島 優子
- 少女部門 ●『お母さんとお父さん』山田浩子/『中学生のヒビキ』長谷川裕見子/『お母さんとお父さん』大島 優子
- 一般部門 ●『お母さんとお父さん』山田浩子/『中学生のヒビキ』長谷川裕見子/『お母さんとお父さん』大島 優子

なお受賞者より、受賞部門は少年部門、少女部門と発表しました。

（受賞者名・受賞部門） 長谷川裕見子/少年部門、長谷川裕見子/少女部門、大島 優子/一般部門

